

令和2年度 家庭科実践・研究計画

部 員	○佐々木 絵理子
-----	----------

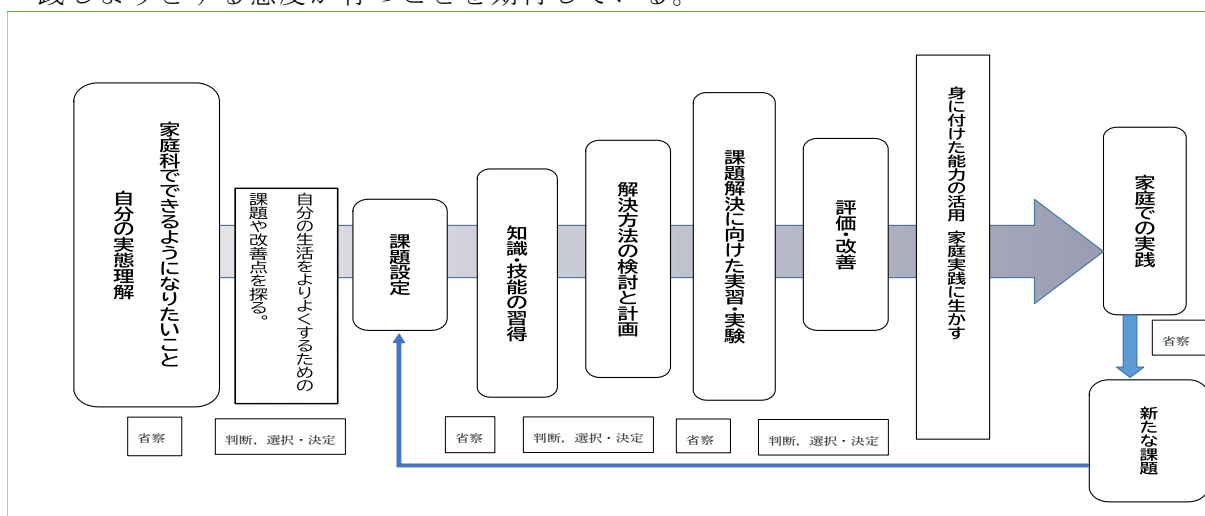
研究テーマ
よりよい生活を創り出すために、学んだ知識と技能を用いて自ら実践しようとする子どもを育む学び

1 研究テーマについて

家庭科の特質は、衣食住や家族の生活などの家庭生活に関する内容を、調理、製作等の実習や観察、調査、実験などの実践的・体験的な活動を通して、実感を伴って理解することである。そして学んだ知識と技能を用いて、思考を深めながら、家庭での実践へと向かおうとする態度を育むことが、新たな学びへとつながっていくのである。

昨年度の実践では、実習中の観察や意見の交換、計画の見直しの場面で子どもたちが自発的に省察し、課題解決を図る姿が見られた。また、子どもの願いから課題を設定したことで、解決のために必要な資質・能力が明確になり、学習意欲や目的意識を引き出すことにつながった。しかし、体験的な活動の中で行われる省察は無自覚に行われている場面が多く見られたため、教師が問い返したり、価値付けたりするなどして次の学びへのつながりを自覚できる省察の在り方が課題となった。そこで、今年度も研究テーマを継続し、「よりよい生活を創り出すために、学んだ知識と技能を用いて自ら実践しようとする子どもを育む学び」と設定した。

家庭科における「自律した学習者」を、これまでの生活経験や学習内容を用いて、家庭科の「見方・考え方」を働かせながら、実践していこうとする姿であると捉えた。また、「学びをつなぐ」を学びの現在地を自覚し、新たな気付きや実践を通して、次の学習へとつなげ、自分の生活をよりよくしていこうとする姿であると捉えた。協働的な省察を通して、自分と友達的生活や考えの中に類似性や新たな価値があることを発見する。そして、それらの多様な考えや価値を比較・検討する中で、自分の生活をよりよくするための方法を判断し、選択・決定できる力と、身に付けた知識や技能を活用して実践しようとする態度が育つことを期待している。



家庭科における自律した学習者の学びのプロセス

家庭科における「学びをつなぎ、資質・能力を高めていく子どもの姿」を次のように捉える。

- ・生活事象に、多様な価値があることに気付き、自分の生活を見つめ、ものの見方を広げ、生き方をより豊かにしていこうとする姿
- ・生活をよりよく工夫するために、日常生活の中から課題を設定し、解決方法を考え、実践活動を評価・改善しながら、課題を解決しようとする姿
- ・生活事象を科学的に見つめ、日常生活に必要な基礎的な知識及び技能を積極的に身に付けようとする姿

2 研究の重点

(1) 多様な価値を認め、判断し、選択・決定する学習場面を位置付けた題材構成

家庭生活の多様化や家事の簡素化に伴い、子どもたちの生活様式は様々である。題材の中に、自己の生活において解決すべき課題を見だし、その解決のために、それらと比較・検討し、多様な価値を認めながら自らの実践につなげていけるような学習場面を位置付ける。そして比較・検討の場面において、客観的に自己の生活を見つめながら、自分や家族、地域の生活をよりよくするための方法を根拠をもって判断し、選択・決定することを通して、家庭生活における実践力を身に付けられるようにしたい。

(2) 家庭科の「見方・考え方」を働かせ、次の学びへとつなげるための省察の工夫

様々な体験的な活動を通して、実感を伴いながら習得した知識・技能を、家庭での実践に結び付けることができるよう、生活の中から見いだした課題の解決に向けた適切な省察の場面を位置付ける。体験的な活動の中で生まれる新たな気付きや考えを、実習の映像やホワイトボードへの記録を用いた振り返りなどにより可視化し、気付きを促すことで、次の学びへとつなげていくための省察を工夫していく。

3 研究・研修計画

時 期	主な研究・研修行事	研究・研修内容
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科部会 ・附属中学校公開研究協議会(中止) ・附属小学校公開研究協議会(中止) 提案授業 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践・研究計画の検討 ・授業づくり，授業力向上 ・授業を通して重点事項の検証
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・研究パンフレット執筆 ・部内研修会 ・教科部会 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践・研究のまとめ ・実践・研究計画の修正 ・授業づくり，授業力向上
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・教科部会 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業づくり，授業力向上 ・授業を通して研究の方向性の確認 ・実践・研究計画の立案

通年：年間指導計画及び資質・能力表の加除・修正